

榛名山麓の水生甲虫類Ⅱ (1) 水生甲虫相の解明

茶珍 護 (群馬県立ぐんま昆虫の森)・牧野雄生・飯島明宏 (高崎経済大学大学院 地域政策研究科)

はじめに

近年、全国的に衰退が著しい水生甲虫類について、群馬県ではデータが不足している状況にある。群馬県内の水生甲虫類については、林 (2008) や茶珍 (2015) が、これまで県内でほとんど報告がなかったダルマガムシ科やヒメドロムシ科などの流水性甲虫類を含め、水生甲虫相の解明をすすめてきた。しかし、調査エリアも限られ、まだ十分に解明されているとはいえない。そこで、著者らは、昆虫施設と大学が連携することで人材育成と共に県内の水生昆虫相の解明をすすめることができると考え、水生昆虫調査隊を組織し、これまでほとんど調査が行われてこなかった榛名山麓に着目し、河川を中心に調査を行った。

調査方法

榛名山麓全域の調査を計画し、昨年は、南麓を流れる烏川とその支流において調査を行った。二年目にあたる今年には東吾妻地域を流れる吾妻川流域を主に調査し、二年かけて榛名山麓のほぼ全域の河川を調査した。また一部、休耕田など止水環境でも調査を行った。調査は各地点において、メッシュ 1 mm の D フレームネットを使ったすくい採りを行い、採集を行った。またヒメドロムシ類の採集では、洗濯ネットを利用した底の部分を開けたネットも使用した。さらに流路中に突き出た岩や礫の水際を目視により探すことでダルマガムシ類を採集した。

採集した水生甲虫類は、成虫については乾燥標本とし、幼虫は 70% エタノールで保存した。得られた標本はすべて群馬県立ぐんま昆虫の森に保管されている。

調査結果および考察

今年の調査で 8 科 18 種が記録され、昨年の伊藤(2016)の記録とあわせると榛名山麓の水生甲虫類は 10 科 33 種となった (表 1)。オサムシ亜目では、コツブゲンゴロウ科 1 種、ゲンゴロウ科 6 種、ミズスマシ科 1 種が確認され、カブトムシ亜目では、ガムシ科 6 種、ダルマガムシ科 2 種、マルハナノミ科 1 種、ヒラタドロムシ科 4 種、ナガハナノミ科 1 種、ドロムシ科 1 種、ヒメドロムシ科 10 種が確認された。

ゲンゴロウ科では、昨年の調査でほとんど確認できなかったコクロマメゲンゴロウ *Platambus insolitus* が複数の河川で確認できた。本種は山地の流水域に生息し、河川脇の水たまりに多数いるのを確認した。本種の近縁種としてクロマメゲンゴロウ、ホソクロマメゲンゴロウがいるが、確実に見分けるには雄交尾器の検討が必要である。

ミズスマシ科では、オナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti* が多数生息している河川を確認した。

ダルマガムシ科では、ハセガワセスジダルマガムシ *Ochthebius hasegawai* が吾妻川支流の複数の河川で多数確認できた。県内では本種は、これまで比較的大きな河川の流路中に水面から突き出た礫の水際によく見られたが、本調査では川幅の狭い溪流河川で見つかった。そこで当初ハ

セガワセスジダルマガムシの近縁種で、群馬県未記録のホンシュウセスジダルマガムシ *Ochthebius japonicus* と思われたが、同定の結果、これまでも記録のあるハセガワセスジダルマガムシであった。

これらの調査結果より、榛名山麓には希少種を含め多くの水生甲虫類が生息していることが明らかとなった。また榛名山北面（東吾妻地域）の河川に比べ、南面（烏川流域）の方が水生甲虫類の種類も多く、個体数も多く確認できた。このことから榛名山麓の中でも地域によって水生甲虫相が異なることが示唆された。

表 1. 本調査で確認された水生甲虫類

| 科名 | 和名 | 学名 | RDB(環境省) | RDB(群馬県) |
|-------------------|---------------|---|-----------|----------|
| コツブゲンゴロウ科(1種) | コツブゲンゴロウ | <i>Noterus japonicus</i> Sharp | | |
| ゲンゴロウ科 (6種) | チャイロシマチビゲンゴロウ | <i>Nebrioporus anchoralis</i> (Sharp) | | |
| | モンキマメゲンゴロウ | <i>Platambus pictipennis</i> (Sharp) | | |
| | キベリマメゲンゴロウ | <i>Platambus fimbriatus</i> (Sharp) | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| | コクロマメゲンゴロウ | <i>Platambus insolitus</i> | | |
| | コシマゲンゴロウ | <i>Hydaticus grammicus</i> Germar | | |
| | クロゲンゴロウ | <i>Cybister brevis</i> Aube | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 I 類 |
| ミススマシ科(1種) | オナガミズスマシ | <i>Orectochilus regimbarti regimbarti</i> Sharp | | |
| ガムシ科 (6種) | ヒメセマルガムシ | <i>Coelostoma orbiculare</i> (Fabricius) | | |
| | マルガムシ | <i>Hydrocassis lacustris</i> (Sharp) | | |
| | コモンジミガムシ | <i>Laccobius oscillans</i> Sharp | | |
| | キベリヒラタガムシ | <i>Enochrus japonicus</i> (Sharp) | | |
| | コガムシ | <i>Hydrochara affinis</i> (Sharp) | 情報不足 | |
| | ヒメガムシ | <i>Sternolophus rufipes</i> Fabricius | | |
| ダルマガムシ科 (2種) | セスジダルマガムシ | <i>Ochthebius inermis</i> Sharp | | |
| | ハセガワセスジダルマガムシ | <i>Ochthebius hasegawai</i> Nakane et Matsui | | |
| マルハナノミ科(1種) | コクロマルハナノミ | <i>Odeles inornata</i> (Lewis) | | |
| ヒラタドROMシ科 (4種) | ヒメマルヒラタドROMシ | <i>Eubrianax pellucidus</i> Lewis | | |
| | ヒラタドROMシ | <i>Mataeopsephus japonicus</i> (Matsumura) | | |
| | チビヒゲナガハナノミ | <i>Ectopria opaca opaca</i> (Kiesenwetter) | | |
| | チビマルヒゲナガハナノミ | <i>Macroebria lewisi</i> Nakane | | |
| ナガハナノミ科(1種) | ナガハナノミ科sp. | Ptilodactylidae sp. | | |
| ドROMシ科(1種) | ムナビロツヤドROMシ | <i>Elmormorphus brevicornis brevicornis</i> Sharp | | |
| ヒメドROMシ科(10種) | ヒメハバビドROMシ | <i>Dryopomorphus nakanei</i> Nomura | | |
| | キスジミゾドROMシ | <i>Ordobrevia foveicollis</i> (Schonfeldt) | | |
| | コマルヒメドROMシ | <i>Optioservus yoshitomi</i> Kamite | | |
| | マルヒメドROMシ属の一種 | <i>Optioservus</i> sp.1 | | |
| | ツヤヒメドROMシ | <i>Optioservus nitidus</i> Nomura | | |
| | ケスジドROMシ | <i>Pseudamophilus japonicus</i> Nomura | 絶滅危惧 II 類 | |
| | ツヤナガアシドROMシ | <i>Grouvellinus nitidus</i> Nomura | | |
| | マルヒメツヤドROMシ | <i>Zaitzeviaria ovata</i> (Nomura) | | |
| | ツヤドROMシ | <i>Zaitzevia nitida</i> Nomura | | |
| | ミゾツヤドROMシ | <i>Zaitzevia rivalis</i> Nomura | | |

キーワード（水生甲虫類、榛名山、ゲンゴロウ科、ダルマガムシ科、群馬県）

引用文献

- 茶珍 護 (2015) 群馬県産流水性甲虫類の分布記録. ホシザキグリーン財団, (18) : 231-249.
- 群馬県 (2012) 「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編 2012年改訂版」. 301p. 群馬県環境森林部自然環境課.
- 林 成多 (2008) 群馬県で採集した流水性甲虫類. 甲虫ニュース, (164) : 11-13.
- 伊藤 嵐 (2016) 榛名山麓烏川水系における水生甲虫類の分布調査. 環境システム研究 (高崎経済大学・飯島ゼミナール卒業論文集), (5) : 1-32.
- 環境省 (2015) レッドデータブック 2014(5)昆虫類. 509p. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室.